

新機能を 活用した 地域分析

地域分析は、**現状を分析し、自地域の課題と要因(の仮説)を把握することが目的**です。また、計画期中においては設定した目標値の達成度確認にも用いることができます。

分析においては、全国や他の地域との比較や自地域内での時系列の推移を見ることや、地図上で分布を見ることで、自治体の特徴や需要に照らした供給の過不足を多角的な視点で把握します。

新機能を活用した地域分析(※1)の大まかな流れは以下のとおりです。

(1) 保険者全体の状況を概観する

- ①レーダーチャートで自保険者の特徴を捉える
- ②特徴のある項目や関連する指標について数値の推移や他保険者との違いを確認する

(2) 地域の状況を地図情報・事業所別情報から捉える

ここでは、**データを用いて客観的に地域の状況を捉える方法**を紹介し、本資料で紹介する**地域包括ケア「見える化」システムの機能を活用し、地域の現状や中長期的な状況を把握したうえで、他の調査等を通じて現状を深く理解し、施策の検討へつなげることが重要**です。

(※1)地域分析の詳細は「地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析の手引き(改訂版)」を参照してください。

保険者全体の状況を概観する

地域別に見る

レーダーチャート

全国と比較し高い(低い)項目や、グラフの形(各項目のバランス)を確認することで、**自保険者の強みと弱み、特色を確認**

【確認の観点例】

- 地域の概況(需要)
 - ・調整済み認定率や1人あたり保険給付月額等は、他保険者と比較して高いか/低い。
 - ・中長期(2040年)の介護サービス需要は他保険者と比較して多い/少ないと見込まれるか。
- サービス提供体制(供給)
 - ・施設・居住系サービスや居宅サービスの整備状況等は、市町村において目指す方向性、イメージするサービス提供体制と一致するか。
 - ・利用された介護サービスのうち、市町村内の事業所による提供割合(介護サービス自給率)はどの程度か。(給付額全体、サービス別)
- 医療介護連携
 - ・医療と介護が主に共通する4つの場面(入退院支援、日常生活の療養支援、急変時の対応、看取り)ごとの取組状況を確認し、他保険者よりもよく取り組まれている/あまり取り組まれていない場面はあるか。

個別指標

特色のあった項目や関連する指標について個別指標で**推移や他保険者との違いを確認**

人口メッシュ・地図機能

高齢者の分布と施設・事業所の分布から**現在のサービス提供状況を確認**

【確認の観点例】

- ・高齢者の分布を踏まえ、施設・事業所から特に離れている地域があるか。

事業所別指標

市町村内の事業所における従事者数、利用者数、定員充足率等の水準について、**現状や推移から全体的な傾向を確認**

【確認の観点例】

- ・従事者数等が大きく減少又は一般的に妥当な水準を大きく下回る事業所があるか。
- ・特定の介護サービス種類区分やサービス種類、地域で生じていないか。

人口メッシュ・地図機能

現在の施設・事業所数と中長期の人口推移を踏まえ、**優先して検討すべき地域を確認**

【確認の観点例】

- ・地域における中長期の人口推移を踏まえ、現在の施設・事業所数ではサービス提供が過少(過多)となる地域はあるか。

事業所別指標

「5年間連続減少アラート」から、**安定的な運営が特に懸念される事業所があるか確認**

【確認の観点例】

- ・市町村内に「5年間連続減少アラート」に該当する事業所があるか。
- ・当該事業所は、地域のサービス提供体制において、どのような役割を果たしているか。

保険者で実施する調査や関係者へのヒアリング等を通じて、実態をより深く分析

レーダーチャートの見方

- ☑ 偏差値が高いもしくは低い項目を確認し、**自保険者の強み及び弱み、特色**を確認できます。
- ☑ 偏差値の数値は、全国の市町村の値に対する「位置」を示しています。偏差値と併せて、偏差値の算出に用いられたデータを併せて確認しましょう。

レーダーチャート	指標化される項目
地域の概況(需要)	65歳以上高齢者割合 2040年に向けた将来推計人口増加率 高齢単居及び高齢夫婦のみ世帯率 調整済み認定率 介護サービス受給率 第1号被保険者1人あたり保険給付月額
サービス提供体制(供給)	介護サービス自給率 要支援・要介護者1人あたり施設サービス入所定員 要支援・要介護者1人あたり居宅(福祉系)サービス事業所数 人口10万人あたり居宅(福祉系)サービス事業所数 人口10万人あたり居宅(医療系)サービス事業所数 人口10万人あたり居宅介護支援事業所数
医療介護連携	在宅死亡者数(自宅) 入院時情報連携加算、退院・退所加算算定率(居宅介護支援) 協力医療機関連携加算算定率(施設・居住系) 看取り介護加算、ターミナルケア加算算定率(施設・居住系) 緊急時訪問看護加算算定率(訪問看護) 認知症(専門ケア)加算算定率(通所系、多機能系、施設・居住系)

【地域の概況(需要)】

- ☑ 認定率や受給率、1人あたり保険給付月額の全国比を確認し、その**要因分析や対応に向けた議論につなげることが必要**です。

【サービス提供体制(供給)】

- ☑ 要支援・要介護者1人あたり定員・事業所数や介護サービス自給率の全国比を確認します。
- ☑ 特に、他市町村の事業所からの提供では、通常よりも移動時間を要する場合があります。特に訪問介護等の要介護者の日常生活を支えるサービスで、介護サービス自給率が低い場合、**サービス提供状況の確認等につなげることが必要**です。

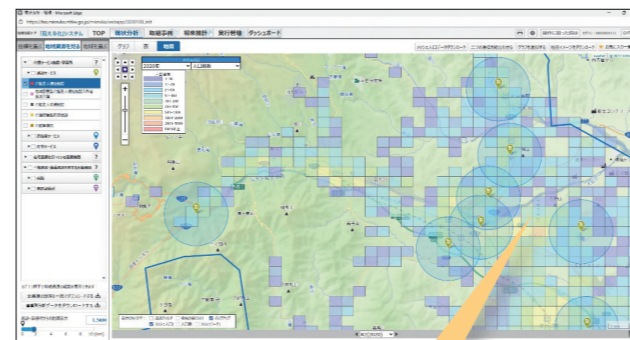
【医療介護連携】

- ☑ 在宅医療の4場面(入退院支援、日常生活の療養支援、急変時の対応、看取り)の観点から、介護報酬における代表的な加算の算定状況を指標化しています。
- ☑ 全国比と差異がある項目がある場合には、介護SCR(※2)等のデータを活用して具体的な算定状況等を確認し、**医療関係者と共有して、課題分析につなげることが必要**です。

特色のあった項目や、これら項目に関連する指標について、「現状分析」の指標で詳細に確認しましょう。

人口メッシュの使い方

- ☑ 中長期の人口の推移と現在の施設・事業所数を確認し、今後の提供体制について**優先して検討すべき地域を確認**します。特に人口減少地域では、早期に地域の関係者を含めた議論につなげることが必要です。
- ☑ また、訪問介護や通所介護等の在宅サービス事業所から遠隔地(同心円の外)に所在する地域を確認します。当該地域は、**通常よりも移動時間を要するおそれがあるため、同地域の住民へのサービス提供状況や提供事業所における負担感の確認につなげることが必要**です。



人口メッシュと施設・事業所からの距離を示す同心円を同時に表示して確認します

事業所分析情報の見方

- ☑ 各項目は事業所が安定的に運営する上で不可欠なものであるため、市町村内に所在する各事業所における各項目の水準について、現状、5か年推移、5年前と現在の比較等について、俯瞰的に確認します。
- ☑ 1つでも「5年間連続減少アラート」が表示された場合には、**事業所の安定的な運営への影響が懸念されるため、その他の指標や算定状況等を確認し、必要に応じて、当該施設・事業所への確認を行うなどを通じて、支援を必要とする施設・事業所の早期把握につなげることが必要**です。
- ☑ 特に、地域に所在する事業所が1法人(事業所)のみである場合等には、当該事業所の安定的な運営を確保することが当該地域のサービス提供体制の維持に直結するため、本指標等を活用して、施設・事業所の状況を注視することが必要です。

看護職員等の常勤換算数の減少		介護職員常勤換算数の減少	
5年間連続減少アラート	5年前と比較した変化の割合(%)	5年間連続減少アラート	5年前と比較した変化の割合(%)
	0.0%	○	-22.2%
	-13.3%		0.0%
	20.3%		8.7%
	6.7%		4.2%
	8.0%		6.7%
○	-11.5%	○	-8.6%
...

「5年間連続減少アラート」が表示された事業所は特に注視しましょう

※2 介護SCR(Standardized Claim Ratio)とは、ある時点において、全国の平均介護提供量を100とした場合の、各地域における介護提供量を、性年齢階級別の人口構成を加味して数値化したもの